

令和3年度 仙台市若林障害者福祉センター防災訓練を実施しました

令和3年7月16日

仙台市若林障害者福祉センター

去る令和3年7月7日（水）、当センターにて防災訓練を実施し、40数名が参加しました。

今回は、午後1時30分頃、地震発生に伴い2階厨房から火災が発生したことを想定して訓練を行いました。訓練地震発生と同時に、事務室全員が机の下に入り1分程度身の安全を確保しました。自立訓練利用者様は、防災用ヘルメットをかぶり、頭部を保護し、身の安全を確保しました。

その後、2階厨房より訓練火災発生時の非常ベルが鳴動し、火災発生の確認をしたのち、避難誘導の館内放送を実施し、防火シャッターが下りていることを想定し、防火扉からの避難を行いました。

火災発生現場の近くの厨房職員により、初期消火の訓練も実施しました。

今回、通報訓練は若林消防署員が来所し、内線電話を利用して行いました。

最後に、水消火器を使用した訓練については、消防設備保守点検業者の方より消火器の使用法を教えて頂き、新規採用職員や自立訓練利用者様等に体験してもらいました。

今後も様々な災害を想定して訓練を行い、災害に対応できるよう体制を強化していきます



～参加者の声～

- 机の下に物があると安全確保の妨げになると感じたので、整理整頓に心がけたい
- 現場確認の後、誰に報告すべきか若干戸惑いがあった
- 車椅子利用の方が多かったため、実際だったら人手不足になると思う